



▲秋田の天然スギ



▲最上峡の天然スギ



▲阿賀町の天然スギ



▲佐渡の天然スギ



▲志賀町の天然スギ

スギ天然林はおもしろい

日本は、各地にスギの天然林が分布しています。多くは局所的な分布ですが、分布地は意外と多く、かつて、自然界にスギが豊富に存在したことが想像できます。

スギ天然林の林相や樹形は、人工林のスギを見慣れた目には、時として奇異に映るかもしれません。しかし、そこからはスギの性質を知ることができ、また、自然界で生きるスギのたくましさを垣間見ることができます。

各地のスギ天然林

天然スギと聞いてまず思い浮かべるのが、日本三大美林(天然林)の一つ、秋田スギではないでしょうか。秋田のスギ天然林の多くは、伐採後に実生から更新した天然生林で、利用しながら管理されてきたものです。それらは、純林に近い林相を呈しています。

同じ東北地方でも、最上峡(山形)の天然スギは、尾根に分布し、樹形は株立ちと、秋田の天然スギとは様相を異にしています。

このような株立ち樹形のスギは各地にあります。例えば、新潟県阿賀町の天然スギも株立ちをしています。こちらは雪上伐採による、いわゆる「あがりこ」でしょう。

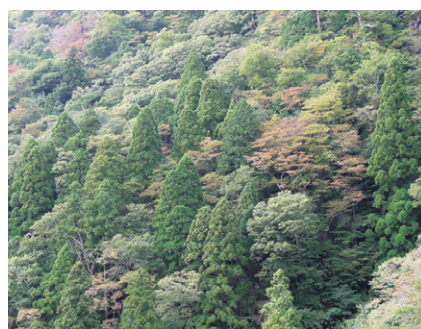
スギは水分の多い立地を好むので、天然林は豪雪地帯に多く分布します。豪雪地帯のスギは、積雪により下枝が地面に押しつけられ、接地箇所から発根して伏条樹形を呈することがあります。佐渡や立山、芦生(京都)のスギによく見られます。

また、天然スギは広葉樹との混交林をつくることもよくあります。芦津(鳥取)の天然スギは、ブナやミズナラと混交し、広葉樹から頭一つ抜け出すようにして立っています。

滋賀県志賀町の扇状地に生える天然スギは、荘厳さこそありませんが、スギが生える立地を教えてください。私たちは、スギ天然林から多くのことを学ぶことができます。そこには、これからの森林管理のヒントがあるかもしれません。

スギ天然林の多様な姿に学ぶ

岐阜県立森林文化アカデミー 教授 ● 横井 秀一



▲芦津の天然スギ